

「Veltima art system」 山本主税

Veltimaとは、アートビジネスを行う架空企業の名前であり、21世紀のアート市場の中で、日本のアートビジネスの価値提供を行う起業（Veltima）を提案。彼はVeltima社のビジネスモデル、CI計画、広告戦略を行った。

まず現状の問題点の抽出、市場分析、他社との比較などを通して業界の知識を深めた。地域に住んでいては見えにくい魅力などを客観的に分析し、地域の魅力を発見する手法から学んだ。

次にそれはどういったものかという内容を詰めた。ビジネスモデルやCI計画がそれに当たり、発見した地域の魅力の差別化や新規性を考える作業は地域の独自性をさらに高めた。

最後にそれをうまく人々に伝えるため、最小限の費用で最大の広告効果を出す4つのチャンネルの戦略を考えた。地域の魅力を効果的に人々に伝える作業が一番重要だと彼は考えた。

観光デザインという学科では6つのゼミから様々なことを学ぶが、いわゆるデザイン系の学科とは違い、それはなぜそうでなければならないのかという論理的な部分を根本に置きデザインを構築していく作業は、一人で地域の魅力を発見し、伝えることができる能力以外にもビジネスに展開できる力を培える環境が整っている。

